

こども・若者を応援

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども・若者が生きる力を育み、未来に夢が持てる環境を整えていきます。

こども・若者会議

市内のこども・若者たちが主体となって、未来の明石のまちづくりにつながる「こども・若者計画」を策定しました。今後も計画の実現に向けて定期的に会議を開催します。

基本理念

みんなが安全・安心で、自分たちの声が尊重され、実現できるまち あかし

こども・若者計画はこちらから



意見やアイデアを出し合って1年かけて計画を作成!

こども・若者の居場所

全小・中学校に

多様な学びを応援

校内フリースペースを設置

学校でも家でもない

こども第三の居場所

さまざまな理由で学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる居場所です。一人ひとりの子どもに応じた学習や体験を通じて成長を見守ります。



居場所サポーターを配置し、学習や生活面をサポートします。

フリースクール利用者へ助成

フリースクールの利用料を一部助成しています。

交流や学習の場に

小中学生・高校生の交流の場として、学習室や音楽室などを無料で利用することができます。

AKASHIユーススペース あかしユースポート



全市立小・中学校・高等学校の体育館にエアコンを完備



あかしプレーパーク

子どもたちの声から生まれた「あかしプレーパーク」。市民団体などによる自主的な開催をサポートするため、補助金制度を創設します。



プレーリーダーさんも活躍中!



子どもたちの声から生まれた遊び場

介護の専門知識・技術を学ぶ 市立明石商業高等学校 福祉科

最新の設備を備えた実習棟や、地域ボランティア活動を通じ、福祉のまち明石のリーダーとなる人材を育成します。

特殊浴槽が配置された入浴実習室



誰もが暮らしやすいまちに

障害者

すべての人にやさしいまちづくり

障害のある人もない人も、安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、事業者や地域の団体と一緒に取り組みを進めています。

どんどん広がっているよ!



条例1

「手話言語・障害者コミュニケーション条例」制定 2015年4月施行

手話を言語として認め、点字や音訳なども含め障害のある人とない人の幅広いコミュニケーション手段の促進について定めた条例を全国で初めて制定しました。

- 手話
- 要約筆記
- 点字
- 音訳
- その他の支援

あかし手話チャンネル

市政情報を手話で紹介。毎月、広報あかしの内容などを配信しています。



手話チャンネルはこちらから
ろう者の職員が手話で情報発信

幅広いコミュニケーションを支援



手話で伝えよう!

手話

市立小学校の4年生を対象に、耳の聞こえない人の生活や手話を学ぶ「手話体験教室」を実施しています。



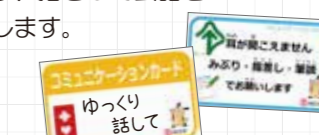
点字

点字メニューを置いているお店も増えてきました。



指さしでお店でのやり取りを簡単に

カードにお店でのやり取りがイラストや文字で書いてあり、指さして会話をサポートします。



スマホでも

書き込みもできます

条例2

障害者配慮条例 合理的配慮の提供を支援する 公的助成制度スタート 2016年4月施行

事業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成しています。

対象/事業者や地域の団体など

助成内容/

- ①点字メニュー・コミュニケーションボードなどの作成(上限5万円)
- ②折りたたみ式スロープ・筆談ボードなどの購入(上限15万円)
- ③手すり設置・段差解消などの工事(上限30万円)

400を超える
お店や施設に
設置しています!



筆談ボード
ご利用ください

NEW 市の窓口 電話リレーサービス「手話リンク」を導入

電話リレーサービスの手話通訳オペレーターを介して、市の窓口で手話で電話をかけることができるようになりました。



利用者 オペレーター 市職員

条例3

あかしインクルーシブ条例 2022年4月施行

年齢・性別・障害・国籍などにかかわらず、すべての人が安心して自分らしく生きられるインクルーシブなまちづくりを実現するために、今後の指針となる条例を制定しました。

補助制度を創設

自治会や商店街などのバリアフリー化に向けた費用を補助



あかしインクルーシブ条例パンフレット

インクルーシブアドバイザー制度

お店や施設などのバリアフリーについて、障害のある人や高齢者などがアドバイザーとして一緒に考えます。



インクルーシブな取り組みを動画で紹介

